

千葉知施連ニュース 第 12 号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺 6166 発行日：平成 28 年 11 月 30 日

◇28 年度千葉知施連支部長会議◇

28 年 11 月 13 日（日）午後 1 時から 28 年度支部長会議が県教育会館で開催され、33 支部から 42 名が出席して 6 グループに分かれてグループ討議・発表を行いました。

今回のテーマは「津久井やまゆり園事件で考えさせられたこと」とし、施設利用者の安心・安全について、防犯体制（ハード面）・職員採用・人材育成（ソフト面）の問題や社会の障害者に対する差別・偏見・人権無視、被害者の氏名公表の是非など、また親・家族、家族会の考え方などについて約 2 時間にわたり各グループで活発な討論が繰り広げられました。

各グループから発表された意見・考えを要約すると次のとおりです。

1. ハード面は既に施設では何らかの対応は実施済み。今回の特異な事件は防ぎようがなかった。今後、夜間職員の増員、監視カメラ・センサーなどの増設、警察、警備会社との連携が必要である。ソフト面では、日頃施設・職員、近隣住民等とのコミュニケーションを密にすることが必要である。
2. 障害者に対する差別・偏見・人権無視などは未だにかなりある。現在の社会全般の風潮などが今回の犯人の考え方（障害者はいらないなど）を生み出す背景にあるのではないか。
3. 被害者の氏名公表の是非は賛否両論であった。被害者の生きた証し、事件の風化などへの懸念の一方、それぞれの家庭事情やマスコミの被害者家族に対する攻勢、当事者の判断に任せる、など

～28 年度県障害福祉課との懇談会～

県障害福祉課との懇談会が 9 月 9 日（金）午後 1 時 30 分からきぼーる商談室で開催されました。

* 出席者 （障害福祉課）2 名 古屋障害福祉課長 小原施設整備班長

（千葉知施連）8 名 奥澤 山田 市川 村上 矢作 山岸 鈴木 松永

* 議題 1. 第 5 次障害者福祉計画の進捗状況について

入所施設・GH の待機者、入所定員、強度行動障害者関連（職員研修）、虐待発生状況など

2. 入所施設の新設について

待機者の増加、在宅・通所の高齢化及び親の超高齢化、GH 利用者の再入所問題など

3. 入所施設の充実について

老朽化施設の改修・建て直し・補助金、個室化推進、耐震化、スプリンクラー設置など

4. 社会福祉法人改革について

改正法人統治体制（ガバナンス）の監督及び指導（運営の透明化・情報開示）など

5. 今後予想される問題について

65 歳問題（障害福祉サービスと介護保険との統合）、成年後見人制度の見直しなど

6. 神奈川県津久井やまゆり園事件について

県健康福祉部長からのメッセージ「障害のあるみなさんへ」、防犯対策への補助金など

◇千葉知施連顧問との懇談会◇

顧問との懇談会が 8 月 9 日（火）午前 11 時に千葉県知的障害者福祉協会事務所で開催されました。

* 出席者 （顧問） 里見 小林 佐久間の 3 顧問及び千日事務局長

（千葉知施連） 奥澤 山田 市川 村上 山岸 鈴木 河村 松永

* 議題 神奈川津久井やまゆり園事件、社会福祉法人改革、県への要望事項、虐待問題などについて約 1 時間余り意見交換を行いました。その中で今回の特異な事件は防犯対策をいくら強化しても防ぎようがない。また連合会は入所施設の必要性をもっと訴えるべきとアドバイスがありました。

第12回「全施連全国大会福岡」報告

平成28年度全施連全国大会が10月18日(火)、19日(水)の2日間、福岡市(セントラーザ博多)で開催され、全国から638名(22都道県)が集まり千葉からは18名が参加しました。

○大会テーマ 『「新しい施設」を語ろうー当事者の笑顔を輝く日のために』

【1日目・10月18日】13:00~17:00

*開会式 来賓挨拶 福岡県知事 福岡市長ほか

*基調講演 「新しい施設」を考えるための視点 北九州市立大学教授 小賀 久氏

*シンポジウム 『当事者各々が望む「新しい施設」を語ろう』

【2日目・10月19日】9:00~12:30

*講演「障害者総合支援法施行3年後の見直し等について」厚労省障害福祉課長補佐 菅洋一郎氏

*全員参加型討論会 『親・家族が考える施設がもっとよくなるための条件は何か』

※大会の詳細は全施連ニュース第15号に載っています。

◇第2回全施連理事会 19日13:30~14:50(引き続き全国大会会場内で)

・28年度上半期活動報告・下半期活動の見通し

・29年度全国大会について 29年10月3日(火)~4日(水)秋田市で開催

会場 秋田キャッスルホテル 詳細は今後、順次発表します。

・熊本地震義援金の集計状況 10月末現在総額624万円(21都道県)うち千葉知施連80万円
ご協力を頂いた各支部の皆様に厚く御礼申し上げます。

◇全施連緊急代表者会議(津久井やまゆり園事件) ◇

7月26日未明に神奈川県知的障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた凄惨な事件を重く受け止め、8月5日(金)午後1時から神戸労働会館で緊急代表者会議が開催されました。

会議では事件の経過説明、全施連の声明文発表などこれまでの対応や事件に伴う問題点などが話し合われました。

問題点としては、①障害者に対する差別意識はどう立ち向かうか(社会に根強く残る差別意識や親・兄弟の中にある人権意識など) ②施設・家族の対応について(施錠の強化は囲い込み、虐待につながらないか。夜間職員の増員や監視カメラの増設を施設に要望するなど) ③被害者の氏名公表について ④安楽死 自殺ほう助について(優生思想の流れに対しての危惧)などが上がった。

～第5回全施連提言PT会議II～

8月29日(月)、30日(火)の2日間に亘り第5回PT会議IIが東京目黒大橋会館で開催されました。出席者21名(小賀教授 宗澤准教授 北海道 秋田 群馬 神奈川 愛知 兵庫 高知 千葉6名)

提言IIー新しい施設の具体像について(案)

「新しい施設のあり方に関する提言」→「提言I」2012年8月1日策定

「新しい施設のあり方に関する具体的提言(仮)」→「提言II」策定中

◇論点 1. 現状での問題・課題の指摘

2. 現状を受けての目指すべき将来像

3. 権利擁護の拠点としての施設像

※会議の詳細は省略。なお「提言I」は千葉知施連HP→全施連HPで検索してご覧ください。

◆編集後記◆ 早いもので今年も残すところあと一ヶ月となりました。障害福祉課との懇談会、福岡での全国大会、そして支部長会議と主だった会議での共通する問題は「津久井やまゆり園事件」についてでした。あの忌まわしい凄惨な事件から学ぶことが多かったこと、改めて被害者の靈へ合掌。(宗)